

教職希望者は必ず履修しなくてはならない（経済学部は除く）。なお、()内のテーマによらず、いずれの授業科目でも充当することができる。

- 注2) 経済学部では、専門教育科目として同内容の「コンピュータと情報A」が開講されているため、情報処理科目を履修することはできない。なお、教職希望者は「コンピュータと情報A」を教員免許状取得に必要な「情報機器の操作」として充当することができる。
- 注3) 「コンピュータ技術演習(活用入門)」以外は、コンピュータの基礎的な利用法について授業時に扱わないので、履修にあたっては注意すること。
- 注4) 同一年度に、2科目4単位を超えて履修することはできない。
- 注5) コンピュータ教室では台数に限りがあるため、事前登録により受講者数の制限を行う。

5. キャリア形成支援科目

「生きること・働くこと」の意味、社会の変化と社会が求めている「人材」への理解、「自分発見」の重要性を学び、キャリア形成を考える際の問題提起をすることを目的とし、半期2単位で開講される。

授業科目名	開講学年	単位数	開講	履修方法	備考
キャリアデザイン ^{注1)}	1	2	半期	義務・選択 ^{注2)}	()内のテーマが異なれば同一の授業科目名でも複数履修可 ^{注3)}
インターンシップⅠ	1 ^{注4)}	2	半期	選択	
インターンシップⅡ ^{注5)}	2・3 ^{注4)}	2 ^{注6)}	半期	選択	

注1) 法学部法律専攻では、専門教育科目として同内容の「キャリア・プランニング」が開講されているため、()表記のない「キャリアデザイン」を履修することはできない。

注2) ()表記のない「キャリアデザイン」は、文学部では選択科目(3・4年次に履修することはできない)、法学部(法律専門職専攻、政治専攻)・経済学部・神道文化学部では1年次^{後期}の履修が義務付けられている。なお、義務履修科目とは、単位修得の必要はないが履修を義務付けられた科目である。また、履修は一度限りであり、単位修得の有無に関わらず二度目の履修をすることはできない。

注3) 「キャリアデザイン」及び「インターンシップⅠ」は「キャリアデザイン(話す力・聞く力を伸ばす)」「インターンシップⅠ(教育・専門職)」のように()内でテーマが示される。ただし、()表記のない「キャリアデザイン」は注1)・注2)のとおり履修に関する制限があるので、注意すること。

注4) 「インターンシップⅠ・Ⅱ」は、4年次に履修することができない。

注5) 「インターンシップⅡ」は、**現場で実習する科目です**。また、登録の手続きは、キャリアサポート課で行うため、詳細はキャリアサポート課で確認すること。

注6) 「インターンシップⅡ」は、年次別履修制限の単位外として扱われる。

6. 選択外国語科目

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語のうちより、各自が自由に選択して履修できる。科目とレベルは以下のとおりである。

授業科目名	開講学年	単位数	開講	履修方法	レベル ^{注1)}
First Year English I ^{注2)}	1	1	前期	選択	1年目
First Year English II ^{注2)}	1	1	後期	選択	1年目
Basic English(英語リテラシーⅠ) ^{注3)}	1	1	前期	義務	1年目
Basic English(英語リテラシーⅡ) ^{注4)}	1	1	後期	選択	1年目
Advanced English ^{注5)}	1	1	半期	選択	WEBシラバス参照
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語初級Ⅰ	1	1	前期	選択	1年目
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語初級Ⅱ	1	1	後期	選択	1年目
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語総合初級Ⅰ	1	1	前期	選択	1年目
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語総合初級Ⅱ	1	1	後期	選択	1年目
ドイツ語/フランス語/中国語入門	1	1	半期	選択	1年目
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語中級Ⅰ	1	1	前期	選択	2年目
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語中級Ⅱ	1	1	後期	選択	2年目
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語総合中級Ⅰ	1	1	前期	選択	2年目
ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語総合中級Ⅱ	1	1	後期	選択	2年目
ドイツ語/フランス語/中国語上級Ⅰ	1	1	前期	選択	3年目
ドイツ語/フランス語/中国語上級Ⅱ	1	1	後期	選択	3年目
検定ドイツ語/フランス語/中国語 ^{注6)}	1	1	半期	選択	WEBシラバス参照